



「新しい豊かさ」の創造 ～琵琶湖新時代に向けて～

滋賀県

夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀の実現に向けて



2015年
3月

2015年
10月

「新しい豊かさ」の創造

2040年

基本構想 7つの重点政策の推進

総合戦略 19のプロジェクトの推進 (基本構想のエンジン)

滋賀県基本構想
策定

人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略
策定

国内

人口減少社会の到来、頻発する自然災害、
働き方改革、東京オリンピック・パラリンピック

世界

米国新大統領就任
英国EU離脱
パリ協定の発効
頻発するテロ
...

H29年度予算

基本構想 3年目
総合戦略 3年目

「新しい豊かさ」を具現化

幸せや豊かさを実感できる
よう具体的な成果を出す

H27予算

H28予算

H30予算

夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀の実現

県民との対話・共感・協働による課題解決

「滋賀県基本構想」と「滋賀県行政経営方針」の計画期間の後半となる3年目を迎え、成果が求められる重要な年度

基本方針

- ① **「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」**の実現に向けて、多様な主体との協働のもと、**「新しい豊かさ」**を具現化すべく、取組を進める
- ② 安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き**歳入・歳出両面から財政健全化の取組**を進める

基本的な考え方

◆ 社会経済情勢の変化等を踏まえた戦略的な施策構築

<4つの視点>

- ① 若者の希望の創造
- ② 国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信
- ③ だれもが健康で、活躍する社会づくり
- ④ 琵琶湖や山と人々の暮らしとのつながりの再生

◆ 国の施策・制度の活用

◆ 多様な主体との協働・連携

◆ 市町との連携強化

◆ 部局間連携の徹底

◆ 財政健全化の推進

当初予算案の規模

	予算額	対前年度当初予算比	
		金額	比率
一般会計	5,343億円	▲ 103億円	▲ 1.9%
特別会計	1,666億円	▲ 595億円	▲ 26.3%
企業会計	756億円	+ 383億円	+102.5%

※1.企業会計は、収益的支出および資本的支出の合計を示しています。
 2.公営競技事業特別会計を廃止し、平成29年度からモーターボート競走事業会計（企業会計）を新設しています。

【主な減の要因(一般会計)】

- 平成28年度当初予算に上乗せした国の補正予算対応事業の減
 - ・国補正関連事業 ▲43億円 (28)43億円 → (29) -億円)
- 法律の規定に基づく経費の減
 - ・県税都道府県清(精)算金 ▲16億円 (28)202億円 → (29)186億円)
 - ・県税市町交付金 ▲20億円 (28)285億円 → (29)265億円)
- 景気変動などの影響による減
 - ・中小企業振興資金貸付金 ▲31億円 (28)127億円 → (29) 96億円)
 (市場金利の影響・リーマンショック後に拡大した融資残高の減少)

当初予算案の特徴



● 4つの視点に重点を置いた総合戦略の19のプロジェクトを推進

①若者の希望の創造	72事業	110億円
②国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信	92事業	23億円
③だれもが健康で、活躍する社会づくり	159事業	496億円
④琵琶湖や山と人々の暮らしとのつながりの再生	60事業	26億円

全事業 383事業 655億円

● 持続可能な財政基盤の確立

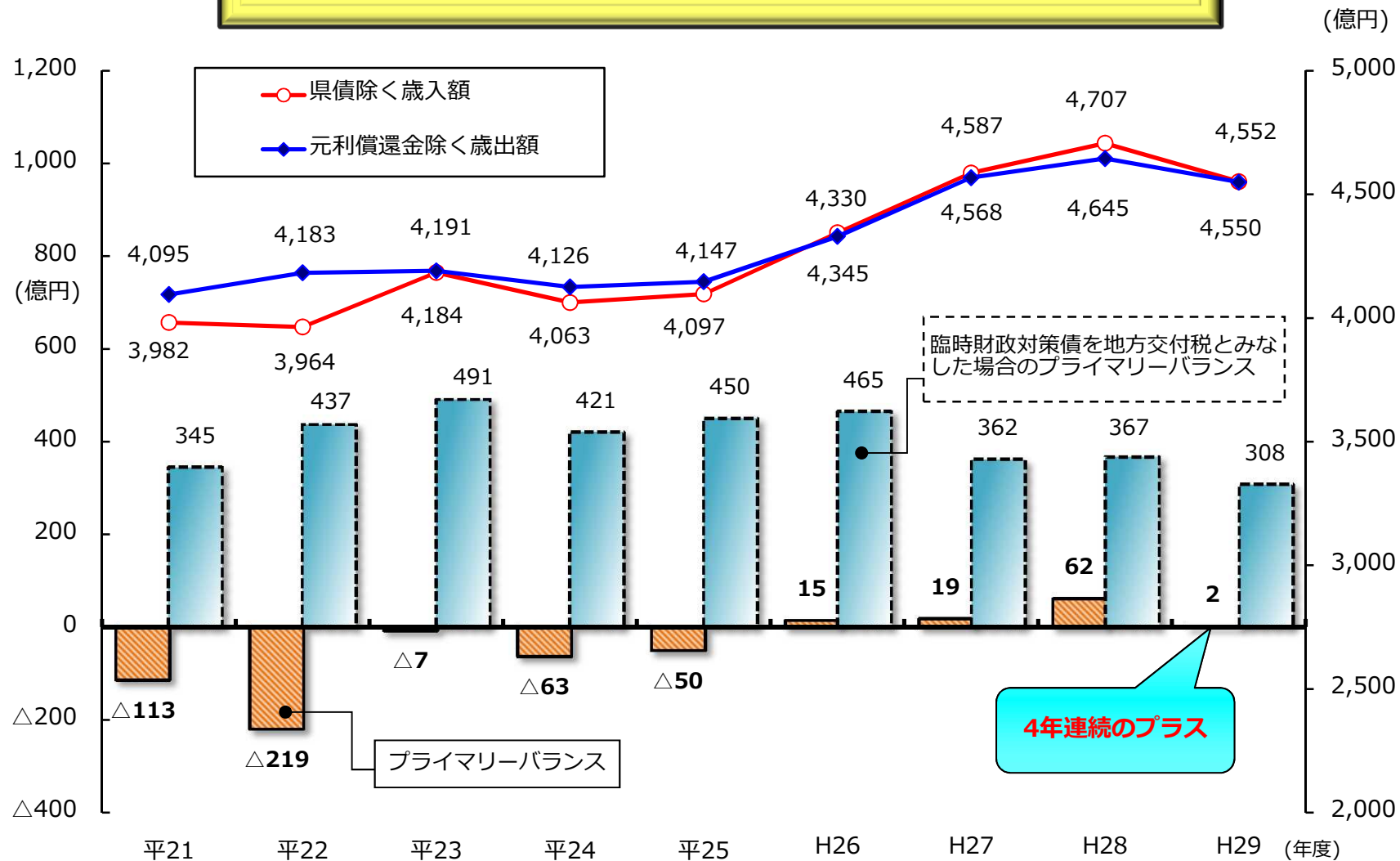
プライマリーバランスが黒字【4年連続】

**「人口減少社会」に対する挑戦や
「琵琶湖新時代」に向けての取組を着実に推進**

プライマリーバランス



**プライマリーバランスは、
4年連続の黒字を維持（当初予算ベース）**



若者

若者の希望の創造【110億円】

新たな価値

国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信【23億円】

健康・活躍

だれもが健康で、活躍する社会づくり【496億円】

つながりの再生

琵琶湖や山と人々の暮らしとのつながりの再生【26億円】

若者の結婚を応援

【資料編P3】

- あいはぐプロジェクト応援団事業（10百万円）
 - －若者の出会いの場づくりを応援するネットワークづくり
- 地域少子化対策重点推進事業（20百万円）
 - －結婚支援に関する企業実態調査
 - －ライフデザイン形成支援



子育て・子育ての応援

【資料編P4】

- 多子世帯子育て応援事業（104百万円）
- 乳幼児福祉医療費助成事業費補助金（1,121百万円）
- （新）「子ども・若者総合相談窓口」設置事業（3百万円）
- （新）子ども家庭相談センター一時保護所増設事業（3百万円）
 - －大津・高島子ども家庭相談センターにおける一時保護所整備

教育の推進

【資料編P5】

- 子どもの「学ぶ力」の向上（10百万円）
- 外国語（英語）能力の育成（144百万円）
- 確かな自己実現を目指す系統的な
キャリア教育の推進（14百万円）



共に生きる教育の推進

【資料編P6】

● 地域で共に学ぶ仕組みづくり

- 「地域で学ぶ」支援体制強化事業（20百万円）
－障害のある子が「地域で学ぶ」ための支援
- 発達障害のある子どもへの支援強化事業（14百万円）
－「障害特性に応じた支援」を強化
- 高等学校特別支援教育推進事業（14百万円）
－生徒への指導力向上と支援の充実

● 障害のある子どもの職業教育の充実

- 職業的自立と社会参加をめざした
職業教育充実事業（9百万円）

新たな価値の創造・発信

国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信

素材・魅力磨き上げ

【資料編P7、P8】

- 「ビワイチ」の推進（154百万円）
- 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」
を活用した観光キャンペーン（45百万円）
- 近江の地酒普及促進事業（3百万円）
- 滋賀の魅力を活かした公共交通利用促進事業（17百万円）
－(新)近江鉄道・信楽高原鉄道・京阪電鉄の魅力発信（1百万円）



新生美術館のオープンに向けて

【資料編P9】

- 新生美術館整備事業費（690百万円）
- (新)みんなで創る美術館プロジェクト事業
（14百万円）

首都圏における発信

【資料編P10、P11】

- 滋賀・びわ湖ブランド推進事業（324百万円）
－首都圏情報発信拠点の開設など
- U I J ターンによる移住や就職の促進
－有楽町に「しがIJU相談センター^{いじゅう}」を設置（13百万円）

新たな価値の創造・発信

国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信

成長産業の創出

【資料編P13、P14】

- (新)(仮称)滋賀県ICT推進戦略策定事業（4百万円）
- (新)IoTによるイノベーションの推進（39百万円）
- (新)滋賀発創業・新事業促進事業（11百万円）
- (新)びわ湖環境ビジネスメッセ ビジネスチャンス拡大事業（13百万円）
－20回目の記念事業として実施
- 「Made in SHIGA」企業立地助成金（180百万円）
- 滋賀発成長産業発掘・育成事業（14百万円）

滋賀ウォーターバレー・
水環境ビジネス推進事業（46百万円）

【資料編P12】



滋賀マザーズジョブステーション
湖北地域への展開



子育て応援カフェLOCO(長浜市)
で出張相談

働き方改革

【資料編P15、16】

- 産業人材育成・確保のグッドジョブプロジェクト事業（27百万円）
- 滋賀マザーズジョブステーション事業など（52百万円）
－湖北地域出張相談の開始
- (新)中小企業働き方改革推進事業（10百万円）

新たな価値の創造・発信

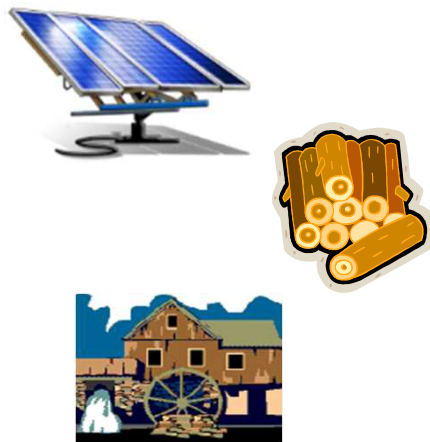
国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信

しがの林業成長産業化 【資料編P17】

- しがの林業・木材産業強化対策事業（21百万円）
 - －製材用材を中心とした地域循環の仕組みづくり
- びわ湖材産地証明事業（4百万円）
 - －CLT等の新たな木材利用の推進



愛荘町立つくし保育園



再生可能エネルギーの導入促進

【資料編P18】

- エネルギー社会トップモデル形成推進事業（25百万円）
 - －先導的なモデル地域づくり
- 分散型エネルギーシステム導入加速化事業（20百万円）

健康・活躍

だれもが健康で、活躍する社会づくり

健康寿命の延伸

【資料編P19、P20】

- 健康寿命延伸事業（3百万円）
- （新）健康寿命延伸のためのデータ活用事業（2百万円）
- （新）滋賀らしい健康創生プロジェクト（40百万円）
- リハビリテーション提供体制再構築事業（33百万円）
- 健康創生産業育成事業（21百万円）



共生社会の実現

- （新）障害者差別解消推進事業（4百万円）
- 共生社会づくりを目指す滋賀県独自の条例の検討など

健康・活躍

だれもが健康で、活躍する社会づくり

農林水産業の活性化

－女性や若者をはじめとした人材確保

【資料編P21】



- （新）女性の力を活かしたアグリビジネス創出事業（6百万円）
- しがの農林水産業就業促進事業（3百万円）
- 林業人材育成システム構築事業（6百万円）
- しがの漁業担い手確保事業（8百万円）

環境こだわり農業のさらなる推進

【資料編P22】



- （新）「日本一の環境こだわり農業」発信事業（9百万円）
- （新）環境こだわり農業の深化プロジェクト事業（3百万円）
- 環境こだわり農業支援事業（702百万円）

健康・活躍

だれもが健康で、活躍する社会づくり

東京オリンピック・パラリンピック 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けて

会場整備

【資料編P23】

- (仮称)彦根総合運動公園整備事業 (1,122百万円)
- 新県立体育館整備事業 (49百万円)
- (新) プール整備支援事業 (7百万円)



文化・交流

【資料編P24、P25】

- 文化プログラムによる滋賀の文化の魅力発信 (790百万円)
 - (新) 琵琶湖周航の歌記念事業 (2百万円)
 - (新) 滋賀の美と祭りの心を伝える人づくり事業 (1百万円)
- 東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業 (17百万円)
 - ホストタウンを活用した交流の推進



暮らしを支える交通の充実



● 公共交通の活性化 【資料編P26】

- (新) みんなで考える公共交通事業 (3百万円)
- (新) 地域協働交通社会実験事業 (1百万円)
- 大津湖南エリア地域交通活性化促進事業 (19百万円)
- (新) バス交通社会実験



● 道路交通ネットワークの整備 【資料編P27】

渋滞対策やネットワークの強化

- スマート I C 整備に向けた取組、幹線道路等の計画的整備
(11,930百万円)

通学路の整備など

- 歩道・自転車歩行者道の整備 (1,644百万円)

防災・減災対策の充実

【資料編P28、P29、P30】

- （新）（仮称）滋賀県地震防災プランの策定・推進（1百万円）
- 原子力防災対策事業（191百万円）
- 「滋賀県河川整備五か年計画」に基づく河川整備事業
（6,524百万円）
- 土砂災害対策施設整備事業（3,047百万円）
- 治山事業（1,628百万円）
- 住宅・建築物の耐震化促進事業（49百万円）



原子力防災訓練

犯罪被害者支援の強化

【資料編P31】

- 犯罪被害者支援事業（15百万円）
－性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖
（SATOCO）の支援体制の強化



高齢者交通事故対策の強化

【資料編P31】

- （新）高齢ドライバーの運転支援事業（4百万円）

つながりの再生

琵琶湖や山と人々の暮らしとのつながりの再生



琵琶湖

『守る』

【資料編P32、P33、P34】

- 琵琶湖の水草等のクリーンアップ（669百万円）
－侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業など
- 急増する野生動物被害に対する捕獲対策（275百万円）
－鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業など

『活かす』

【資料編P35】

- （新）琵琶湖活用推進事業（3百万円）
－琵琶湖活用の方向性を検討
- （新）エコツーリズム推進支援事業（1百万円）

『支える』

【資料編P36】

- 国立環境研究所移転関連事業（141百万円）
－共同研究拠点の設置、新たな水質管理手法や水草の適正管理、在来魚介類のにぎわい回復に資する研究など

「世界農業遺産」

【資料編P37】

- （新）「豊かな生きものを育む水田」普及促進事業（2百万円）
- 世界農業遺産プロジェクト推進事業（13百万円）



ひとつながり

【資料編P38、39】

支えあいの「居場所」と「出番」を広げる

- （新）ひきこもり者と家族に学ぶ公私協働による地域づくり事業（6百万円）
- みんなで淡海子ども食堂を作ろう！応援事業（15百万円）

空き家の流通促進

- （新）滋賀県空き家流通促進モデル事業費（8百万円）

琵琶湖を世界一の湖に

「守る」「活かす」「支える」
政策を推進

行政、民間企業・団体や県民が
みんなで取り組む

琵琶湖は、「新しい豊かさ」を追求する
滋賀の希望

びわ湖の日(7月1日)を
県民の休日に！

国連「持続可能な開発目標
(SDGs)」の視点



琵琶湖保全再生施策に関する関連事業

Mother Lake

【予算額 33,018百万円】

<内 訳> ●水質の汚濁の防止および改善 15,172百万円 ●水源のかん養 9,179百万円 ●生態系の保全および再生 1,531百万円 ●農林水産業、観光、交通その他の産業の振興 4,946百万円	●施策の実施に資する調査研究 294百万円 ●施策に取り組む主体、推進体制の整備 94百万円 ●施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他 1,802百万円
---	--

計画の重点事項

琵琶湖を『守る』取組

(主な事業)

■水源林整備保全、鳥獣害対策

- (新) 次世代の森創生事業 16.7百万円
- (拡) 湖国の森林と自然を守るコホンカ特別対策事業 116.5百万円

■生態系、生物多様性保全

- コシ群落保全管理事業 20.2百万円
- 早崎内湖再生事業 87.1百万円
- 湖岸保全整備事業等 47.0百万円

■外来生物対策

- (拡) 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 354.1百万円

➢ (拡) 有害外来魚ゼロ作戦事業 70.9百万円

■水草対策

- 水草刈取事業 114.8百万円
- 水草除去事業 117.6百万円

■水産資源の回復

- (拡) 多様で豊かな湖づくり推進事業 64.1百万円
- 「琵琶湖漁業再生ステップアップ」プロジェクト事業 53.2百万円

琵琶湖を『守る』ことと『活かす』ことの好循環をさらに推進



琵琶湖を『活かす』取組

(主な事業)

■山村の再生、しがの林業成長産業化

- (拡) しがの林業・木材産業強化対策事業 21.0百万円
- 「山を活かす、山を守る、山に暮らす」都市交流モデル事業

■「世界農業遺産」認定に向けた取組 15.0百万円

- 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業 13.4百万円
- 環境こだわり農業支援事業 701.7百万円

■環境関連産業の振興

- (拡) 水草等対策技術開発支援事業 10.8百万円
- (拡) 滋賀ウォーターハレー・水環境ビジネス推進事業 46.1百万円

■体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進

- (新) エコツーリズム推進支援事業 1.0百万円
- ビワイチ観光推進事業 17.1百万円
- (新) 体験施設等の水草除去支援事業 6.0百万円

■琵琶湖漁業の持続的発展

- (新) 琵琶湖の魚消費拡大PR事業 21.4百万円
- (拡) しがの漁業担い手確保事業 8.4百万円

■琵琶湖活用の方向性等検討

- (新) 琵琶湖活用推進事業 3.0百万円

琵琶湖を『支える』取組

(主な事業)

■調査研究

- ・ (拡) 国立環境研究所移転関連事業 141.3百万円
- ・ (拡) マザーレイクフォーラム推進事業 1.8百万円
- ・ (拡) びわ湖フローティングスクール事業 267.8百万円

■多様な主体による協働

- ・ 水質評価指標としてのTOC等導入に向けた調査研究 35.5百万円
- ・ (拡) みんなの森づくり活動支援事業 9.5百万円
- ・ 展示交流空間再構築事業(琵琶湖博物館) 34.5百万円

■環境教育・学習

琵琶湖新時代へ

協働

協働提案制度を活用した政策形成段階からの協働の取組



新規

協働プラットフォームで共有化された課題の解決を図る
「協働提案制度事業」を平成29年度に初めて実施します!!

協働プラットフォーム(多様な主体の対話・協議の場)



対話・協議の結果を踏まえ事業化

事業の名称	事業の概要	予算額
(新) 高齢ドライバーの運転支援事業	高齢ドライバーを対象とした運転能力や身体機能の低下程度を見極める講習会の開催	3,700千円
(新) 犯罪被害者等支援コーディネート事業	犯罪被害者等が適切な支援を途切れなく受けられるための支援専門職コーディネーターの設置および県内各地での出張相談の実施、パネル展示などの広報啓発活動の実施	4,865千円
(新) 子どもを虐待から守る「次世代育成プロジェクト」	関係機関の協働により、児童虐待に関する視聴覚教材等を作成するとともに、これら教材の活用による高校生に向けた児童虐待の理解等に関する学習活動の実施	5,700千円
(新) 女性の力を活かしたアグリビジネス創出事業	農や食に興味のある女性を対象とした交流・相談会等の実施および女性農業者の経営ステップアップ支援事業の実施	6,090千円
(新) 山門水源の森獣害防止対策事業	希少植物のシカおよびイノシシによる獣害防止のための防獣ネット等の設置および資材運搬道の設置	1,500千円
合計		21,855千円

協働提案制度事業の取組事例

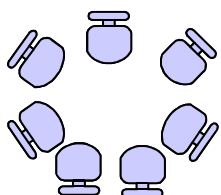


協働プラットフォームのテーマ 高齢者の交通事故防止対策

【参加者】

- ・老人クラブ連合会 ・認知症の人と家族の会 ・交通安全協会
- ・バス協会 ・自動車教習所等

高齢ドライバーのご家族は、高齢者に「免許証を返納してほしい」と願っている。



高齢者本人の意思もあり、免許証の返納は困難な状況。

【結果概要】 高齢者の交通事故防止対策のためには、高齢者本人に自らの運転の危険性を自覚させ免許証の返納を促すための支援が必要

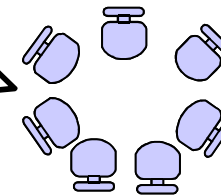
協働プラットフォームのテーマ

犯罪被害者の多種多様なニーズに対するきめ細かな支援

【参加者】

- ・おうみ犯罪被害者支援センター ・弁護士会 ・企業 ・大学 ・市等

被害者の抱える悩みは多種多様、自ら相談窓口を調べるのは大変。



被害者への支援制度の周知や、被害に対する理解が進んでいない。

【結果概要】 犯罪被害者への支援のためには、関係機関の連携・橋渡しや情報の共有化を図るためのコーディネート機能の充実等が必要

新規

県民の皆さんとの対話・協議の結果を踏まえ事業化(協働提案制度)

高齢ドライバーの運転支援事業

～超高齢社会を迎え、社会的課題となりつつある、認知症に起因する交通事故対策の推進～

◆社会情勢(超高齢社会)に応じた課題

認知症対策を含めた高齢者交通事故対策

- ◆高齢ドライバーを対象に、運転能力や身体機能を見極める講習会を自動車教習所で開催
- ◆「運転操作の見直しを考える機会」等を提供し、交通事故を未然に防止



体験型交通安全教室の開催など【既存】

犯罪被害者等支援コーディネート事業

～被害者等への継続支援体制の強化、被害者等支援窓口の認知度向上～



支援窓口、広報啓発活動の充実強化

- ◆専門知識を持つコーディネーターの新規配置等による適切な継続支援体制の構築
- ◆県内各地での出張相談や広報啓発の実施による窓口周知と犯罪被害者等への理解の促進

犯罪被害者等による講演会の開催等【既存】

性犯罪被害者等への公費負担制度の充実【既存】

マザーレイク滋賀応援寄附を活用した事業

Mother
Lake

琵琶湖を愛する方や滋賀の歴史・文化に魅力を感じる方、そして、滋賀県を「ふるさと」と思う全国の滋賀ファンの皆さまからの応援(寄附)を財源として、平成29年度は**20,703千円**の事業を実施しま

琵琶湖に関する事業

琵琶湖の
総合保
全

○外来生物防除対策事業 (4,000千円)

外来生物についての普及啓発を行う。また、県民やNPO法人、市町などの多様な主体による外来種の監視と駆除活動を支援し外来種の駆除を促進するとともに、新たな侵入種の早期防除を図る。

○「豊かな生きものを育む水田」普及促進事業 (1,900千円)

「豊かな生きものを育む水田」の取組拡大のため、活動組織への支援を行うとともに、都市部へのPRにより取組に対する理解促進を図る。

琵琶湖にお
ける環境学
習・体験学
習

○「体験で学ぼう!びわ湖の魚たち」事業 (1,700千円)

琵琶湖の在来魚類の放流や外来魚駆除に関する体験学習会の開催を通して、琵琶湖の在来魚類が滋賀県の食文化を支えていることや、生態系の一部として環境保全の役割を担っていることを学べる機会を創出する。

○学習船「うみのこ」記念事業 (1,400千円)

新たに建造される学習船の就航をもってその役割を終える学習船「うみのこ」の引退記念事業として、学習船「うみのこ」ラスト親子体験航海(1日)2航海および学習船「うみのこ」引退セレモニーを実施する。

琵琶湖に対
する総合
的な理解
を深める

○県民参加型交流会開催事業 (1,860千円)

琵琶湖博物館の第1期リニューアルと併せ、第2期リニューアルの情報や魅力を発信する交流会を開催する。

○「びわ湖の日」推進事業 (300千円)

「びわ湖の日」啓発ポスター等を作成し、琵琶湖の多様な価値について発信するとともに、保全活動への理解と参加を促す。

○環境人材育成のための教材等作成事業 (3,043千円)

琵琶湖の姿を幅広く紹介した「琵琶湖ハンドブック」の再編・改訂等を行い、県内外の多くの人に琵琶湖の価値や保全再生の必要性を発信する。

歴史的文化的資産に関する事業

歴史的文化的
資産の保存・活用

○開館25周年記念 安土城考古博物館所蔵品再生展示事業 (5,100千円)

安土城考古博物館で所蔵されている貴重な文化財のうち、損傷が著しい作品を修理再生し、開館25周年事業として展示公開する。

琵琶湖・歴史的文化的資産に関する事業

琵琶湖に対
する総合
的な理解
を深める、
歴史的文化的
資産の活用

○「世界農業遺産」プロジェクト推進事業 (1,400千円)

「世界農業遺産」の認定に向けて、県民の認知度向上と機運の盛り上げを図るための情報発信等を行う。